

災害を防ぐ森林のお話（西北地域県民局の巻 その 17）

ゆうた君：（ぴかぴかの一年生です）森林に入ると気持ちいいね♪もっと森林のこと知りたいな～

おベ様： やる気満々だな。今回は森林が大雨の災害から我々の生活を守ってくれる働きについて勉強してみよう！

大雨が降ると、山崩れが起きたというニュースを聞くよね！なぜかな？

ゆうた君： 大雨と山崩れって関係があるの？

おベ様： 集中豪雨やゲリラ豪雨など大雨と災害には深い関係があるんだ！！

日本は春夏秋冬の四季がはっきりしているんだ。

梅雨の時期があったり、台風がきたり、雨がとても多いのが特徴なんだよ。

ゆうた君： じゃ～、山地災害はどういうところで起こりやすいの？

おベ様： 災害は以下の三つに区分されるんだ！

「山崩れ」：雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面が崩れ落ちる現象

「地すべり」：地下水などの影響で山の斜面がゆっくり移動する現象

「土石流」：山の斜面から崩れた土砂や石が大雨によって水と一っしょに一気に下流に押し流される現象

【山崩れが起きやすいところ】

△ときどき落石がある △過去に山崩れがあった

△山の斜面に亀裂やわき水がある

【地すべりが起きやすいところ】

△過去に地すべりがあったところで、今も少しずつ動いている

△山の斜面に亀裂や段差がある △わき水や地下水が豊富である

【土石流が起きやすいところ】

△過去に土石流があった △溪流が急でたくさんの土砂や石がある

△溪流の上流が山崩れなどで荒れてる

ところで、森林にはこうした災害を防ぐ働きがあることを知っているかな！

ゆうた君： ！？

おベ様： 木々がいっぱいある森林は、雨水を吸い取って一度に川に集中するのを防いだり、木の根っこが土や石をしっかりつかんで山崩れを防ぐんだ。森林の落ち葉や下草は土砂が流れ出すのを防ぐんだよ！



気持ちいい森林♪



山崩れが起きた森林



広葉樹の林床にヒバを植えて
整備された山

ゆうた君： 森林の働きはわかったけど、大雨が降ったときや大雨の後はどうなところに注意したらいいのかな？

お べ 様： いい質問だな～！！

山の斜面や川の流れをよく観察することで、事前に危険信号をキャッチできるよ！①川がにごった②雨が降っているのに川の水位が下がった③山の斜面に亀裂が走った④山の斜面から石が落ちてきた⑤今まで枯れたことがないわき水が止まった⑥わき水の量が急に増えた⑦井戸水がにごった⑧地鳴りがする・・・こんな8つの危険信号に注意が必要だ！



(平成26年発行：山地災害に備える 発行者：(一社)日本治山治水協会 より転記)

ゆうた君： いくつかは知ってるよ！でも危険信号をキャッチしたら、その後はどうしたらいいの？

お べ 様： これもいい質問だな！

テレビなどの気象情報に注意することが一番！危険を感じたら早めに指定された場所に避難する。災害が起こったらすぐに役場や消防・警察に連絡する。災害の場所に近づかない。そして、普段から家族や地域ぐるみで話し合い、自分の目で確認しておくことが大事なんだよ！

ゆうた君： へ～、ところで災害が起きそうな森林や起きた森林はどのように管理していくの？

お べ 様： 森林所有者が普段から間伐などの手入れをしておくことで災害が起こりにくくなるよ。災害が起きた森林には木を植えたり、森林の働きを助ける施設をつくったりするよ。
よ～し、これから施設を見にいこう！

ゆうた君： これは治山ダムだね！

お べ 様： 平成24年9月9日から11日にかけての大雨で土砂がJR五能線と町道に流出したんだ。

溪流に土砂がいっぱいたまっていたので、まず溪流の土砂を排土してから復旧工事を行ったんだよ。

ゆうた君： あれ？ダムに模様がついているけど？

あ べ 様： この場所はダムが鉄道や町道から直接見えるので、景観にも配慮しているんだ。

このダムには地域資源を有効利用するために間伐した木も使われているんだよ。

ゆうた君： 大雨が降ってもこれなら安心だね！

今まで勉強した、森林を守ることが、地域を守ること。つまり「環境公共」の取組みってことだね！

お べ 様： そのとおり！

ゆうた、夏から秋にかけては、台風や大雨が多い時期なんだよ。

雨が降ったらどうすればいいか家の人と話し合っておいてね。



計画地全景（施工前）



計画地全景（施工後）